

クラス番号	925	担当教員名	斉藤 雅茂
テーマ	高齢者の社会的孤立（孤立死・孤独死）と地域診断		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

急激な高齢化とあわせて、一人暮らし高齢者や生涯未婚者の急増といった背景のなかで、高齢者の社会的孤立や孤立死・孤独死に関連する報道を目にする機会が少なくないと思います。本演習では、高齢者の社会的孤立という問題を扱いながら、3年次以降の専門演習等で求められる基礎的なスキルとして、①自らの力で資料を収集し、批判的に読み、レポートにまとめられること、②効果的なプレゼンテーション技術を習得して活発な討論にむけた情報発信ができること、③社会や地域にある問題の発見と課題策の提案にむけた「地域診断」という手法を理解すること、の3つを目指します。

本演習の進め方としては、資料の検索方法を解説したうえで、基本的には各自の関心で文献収集を行い、輪読とグループ・ディスカッションを重ねていく予定です。その際に、学术论文・統計資料をクリティカルに読む方法（初歩的な統計解析＋α）とともに、より効果的なプレゼンテーションにむけた資料の作り方や発表方法についても考えていきます。また、地域診断の手法に関しては、統計処理ソフト（SPSS）の基本的な使い方、および、国土地理院による地理情報システム（GIS）を活用した分析方法を解説・学習していきます

授業計画：

- （前期）－はじめは、上記のテーマに関連した専門書を輪読します。毎回、学生からの報告を踏まえてグループ・ディスカッションを行います。毎回の発表では、資料の準備とレジュメの作り方、プレゼンテーションソフト（パワーポイント）の活用方法についても考えていきます。
- －その後、Web上の論文検索エンジンを活用した資料（専門書・学術雑誌等）の探し方を演習し、各自の関心に即した論文を集めて輪読をします。その際に、最低限の統計解析で使われる数値の意味を含めて論文の読み方について解説していきます。
- （後期）－地域診断にむけた問題の発見方法として、斉藤が保有するデータに基づいて、統計ソフト（SPSS）を基礎的な使い方と分析方法を演習します。また、GISの意義について学習した上で、実際のデータ入手方法から結果の示し方までを演習します。
- －全体報告会にむけて、1年間の演習を通じて深めた各自の研究成果を、科学的・実証的な論文のスタイルである「目的・方法・結果・考察」に沿ってまとめていきます。

担当教員からのメッセージ



演習（ゼミナール）は、講義と違い、皆さんが積極的に参加し、自ら学習を深めることが求められます。このため、皆さんの負担は大きいですが、得られるものも大きいはずです。自身の経験を振り返ると、学生時代の演習が人生の転機になったように思います...ぜひ様々なことにチャレンジして頂き、お互いに成長できる場にしていきしょう。皆さん自身がより深めたいテーマを言語化し、自らの力で問題に取り組めるようお手伝いしたいと思います。